

どうして日本に来たか

生物圏科学研究科博士課程前期環境計画科学専攻一学年 ポール・プライス



私のイギリスにある家でのパーティ(左から3人目)

私が最初に日本人と会って、先ず最初の質問は、

「何処からですか？」

私は、答える「イギリスからです」

そして二番目の質問は、「どうして日本に来たのですか？」

この二番目の質問に答えるのは、余り簡単ではない。それは、色々な理由があるから。では、その理由について述べる。

A 大学院生の時に

私の研究した学問に関係した論文は、日本語のものが多かった。私の専門は化学で日本語は全く知らなかった。この論文をほん

Hello!
今日は!

てもらうため、大学の「ジャパニーズクラブ」に入会した。このクラブに入会する時、クラブのスタッフが、「もし、このクラブに入会すれば、日本に行く割引航空券が手に入る」と、私に教えてくれた。私は、「そんな事、私に必要ではない」と、その時返事をした。その後、このクラブでたくさんの友達ができ、日本人留学生、日本で勉強したイギリス人、日本で仕事をしたイギリス人、その他多くのアジア人と知り合い、日本の事を習い、話を聞く内に、段々日本に対する興味が湧いてきた。

B 経験

以前はフランスに住み、勉強、仕事の経験があり、ヨーロッパでは色々な国に観光で行ったことがある。ヨーロッパの様々な生活様式(宗教、食事、顔)は、似ている。そこで、もっと違った経験が欲しかったのである。

C 日本とヨーロッパの関係について

現在、ヨーロッパの統合に対し、多くの日本の企業がイギリスに進出し、投資している。だから、日本語は益々大切になっていく。

大体外国語が好きである私は、以上三つの理由で日本に来たのである。

では、どうして広島に決めたのかについて述べると、私は東京のようなコンクリートジャングルは余り好きではない。本来、田舎が大好きであるため広島を選んだ。イギリスでの日本人の友達は、様々な地域から来ていた。(東京・大阪・京都・広島等から)。私は、



田舎が大好きです。

広島大学に入る前には、少し英語の先生の経験が欲しかった。そのため、日本語を習う方が良いと思い、通った学校で、一人の友達が私に広島を紹介してくれた。こうして、私は現在広島大学で学んでいる。

そして、大学の勉強だけではなく、アルバイトとして英語も多くの人達に教えている。その生徒さんの年齢層は学生に限らず、子供から主婦と範囲がとても広く、大学生活以外にもたくさん日本の文化を知るチャンスが多く、とても興味深い毎日を送っている。

将来の計画としては、日本語をもっと勉強して、理学の勉強をし、ほん訳あるいは理学に関連した仕事に就きたく、毎日頑張っている。